

わたしの町の 公明党の実績

<千里園、本町、柴原町>

千里園1丁目
R176交差点
歩行者用信号機設置



千里園2丁目 不要マンホールを撤去



本町2丁目 手摺りの設置等



千里園3丁目 カーブミラー設置



市民からの通報で道路陥没を未然に防止できました

平成25年6月、「箕面街道の路面が凹んでいる」との連絡がひろせ源悟にありました。直ちに大阪府池田土木事務所に通報。掘削調査の結果、路面の下にタテヨコ約1m、深さ約1.2mの大きな空洞が発見されました。

(右の写真参照)

市民が気付かなければ、大きな事故につながるところでした。



内部討議資料

国道176号線の「本町2丁目」交差点から「豊中駅前北」交差点の南側路肩部について、車道の外側線と側溝の間は歩道と見なせる、との見解を交通管理者（豊中警察署交通規制係）に確認しました。同区間は、阪急電鉄宝塚線の高架下に歩道が設定されており、安全柵もあって多くの市民が通行しておりますが、上記路肩部を通行する市民が少なからず居られます。

（これらの市民は、R176北側の住宅街から、信号および横断歩道の無い、国道部分を横断して上記路肩部を歩きますが、交通管理者に確認したところ、当該区間は「横断禁止」区間では無いとのこと。）一方、上記路肩部にはポールや道標ポストが設置されており、有効幅員が不十分で、稀に、側溝に車墜落する歩行者があらわれ、安全対策として、側溝に蓋を設置できないか、との市民要望を

受けております。

つきましては、この市民要望に対する量出張所の見解をお聞かせ下さいませようお願い致します。

図	有効幅 (cm)	側溝幅 (cm)	側溝深 (cm)	歩道幅員の 障害物
①	50	27	52	バス接近表示設置柱
②	59	26	53	道標6kmポスト
③	50	26	48	交通規制標識柱



豊中駅北側の阪急電車高架下のR176歩道は、「狭い上に深い側溝があって危険」との市民からのご意見を頂き、現地調査を実施してレポートを作成。国土交通省高槻維持出張所を訪ねて改善を申し入れました。